

九州農林水産物等輸出促進ネットワーク 設立趣意書

- 近年、世界的な日本食ブームの広がりや、アジア諸国等における経済発展に伴う富裕層の増加等により、高品質な我が国の農林水産物・食品の輸出拡大のチャンスが増大しています。このような状況をとらえ、農林水産物・食品の輸出促進について、攻めの農政の重要な柱の一つとして取り組んでいきているところであり、安倍元首相の所信表明演説において、我が国の農林水産物・食品の輸出額を平成25年までに1兆円規模とするとの政府の目標が掲げられたところです。
- 九州地域では、上海までが東京までの距離とほぼ同じ約1000 kmと、東アジアに近い地理的優位性等を活かし、なし、イチゴ、サバ等をはじめとする農林水産物・食品の輸出が拡大するとともに、最近では牛乳及び牛肉の輸出も開始されているところです。
- 一方、輸出促進活動については、県域単位で行っているため、輸出先国での販促活動及び輸出産物の重複等により、隣県が競合相手となっております。
- また、海外の情報や輸出手続きに関する情報等については、担当する機関の違い等により統一された伝達ルートがないため、輸出事業者、各県等の輸出促進実務者に十分な情報が提供されているとは言い難い状況であります。
- この様な状況を踏まえながら、さらなる輸出拡大を促進していくためには、県域を越えた各自業者間等の連携による農林水産物の輸出等の促進や、輸出に関する基本的な情報の効率的な収集と効果的な提供の促進に取り組むことが必要です。
- このため、九州地域の輸出業務に係る機関等の情報交換及び相互連携を図るために、九州農林水産物等輸出促進ネットワークを設立することとしました。
- つきましては、本連携組織の設立趣旨に、ご理解を賜りますとともに、参画についてお願い致します。